福生新聞

発行所
福生町志茂映画館前
福生新聞社
電話福生422・574
発行人　川上作司

立候補者出揃い既に活況を呈す

立川市長戦

来春四月に施行される立川市長選は早くも中島市長三選を期して出馬決意をするや前回三四数票の差で惜敗した桜井三男氏雪恥戦として出馬を表明、次いで海老原市議の出馬表明、去る八日読売新聞社論説委員伊佐秀雄氏の出馬表明等によって予想された人物四氏全部が出揃い、立川市の市長戦は俄然活況を呈するに至り来春四月の選挙前までには、支持層もそれぞれ二転三転、大体候補者の強弱消長もはっきりするものとみられている。

中島舜司氏（65）は大正十年～大正十四年まで立川村会議員昭和三年～七年まで立川町長、昭和八年～十二年まで立川町長、昭和十六年～十八年市会議員、昭和十八年～二十年立川市議会議長、昭和二十二年～二十六年立川市長立川市の自治行政面に携ること実に三十八年の経験を有し、其の間立川町長二期、立川市長二期、理事者として自他共に許す立川市建設の実績を持っている。

桜井三男氏（53）慶応大学経済学部卒業、立川市会議員に当選二期、其の間副議長二年、議長三年、現在立川体育協会々長、都立立川高校同窓会副会長、前回の市長戦には僅か三百四十数票の差で惜敗しているので来る市長選には前回同様立川市政のボス政治排撃をスローガンとして出馬する模様で氏にとっては敗けられぬ一戦である。

海老原兼次氏（43）日本大学歯科学校卒業昭和二十六年三十六才にて市議会議員となり同三十年に再選さる。その間緑川改修工事、市立第一小学校鉄筋新築工事、多摩川観光産業道路等の議会が特筆すべき対政府運動の中心人物として活躍し、成功に導いた外大立川建設のため周辺市長村どの大同団結を策し、特別対策委員長として合併に努力し、青年政治家として市民に親しまれ明朗で情熱的な性格を買われ、板谷信一郎氏を筆頭に沢井竹次郎、守重芳、山口麻雄、古屋博、金丸宗重、大山仲次郎、浅見忠平、天谷貞三、高村厳、波多野静次氏等の有力筋が後援、必勝を期して市長戦に備え着々、戦線を固めている。

伊佐秀雄氏（52）明大専門部政経科卒業、中外商業（現在日経）やまと新聞、国民新聞（現在東京新聞）満州新聞、中国新聞の

（写真は上から中島舜司氏・桜井三男氏・海老原兼次氏・伊佐秀雄氏）

各記者を経て昭和二十一年新潮社（現在報知新聞）の論説委員となり、二十二年読売新聞の論説委員に転じ現在に至る、二十五年尾崎咢堂秘書として欧米に随行、現在尾崎記念財団常任理事、尾崎記念館建設委員、立川文化連盟理事長、立川新風会理事長。

きれいな選挙からきれいな市政、勤労者大衆に直結する市政を、市政刷新は新人の手で……をスローガンとし、政策としては

（一）基地空港から商業空港への転換促進（二）大公会堂の建設（三）近接都市の一体化による大立川の建設（四）勤労者の福祉増進（離職対策の拡充、勤労者クラブの設置等）（五）住民税負担の不均衡是正（六）中小商工企業の振興（中金の誘致その他）（七）南北交通の整備（南北縦貫道路の完成、立川、西武バス交通の調整鉄道操車場の移転、道路舗装の完備等）（八）養老対策の推進（老人ホームの増設、敬老年金の制定等）九都市計画の強力推進（立川公園の建設、河川敷の利用による工場地造成、市街地の再開発、市営住宅、アパートの完備等を掲げて市長戦に臨む予定だ……という。

越境合併の境界紛争は内閣総理大臣が調停

埼玉県元狭山村と瑞穂町との合併は政府が埼玉県側の政治的圧力で元狭山村の三分の一を残県、瑞穂町に分村合併をさせたことから残県を不満とした住民は、境界線の設定打合せに来た武蔵町長、助役に暴力を持って武蔵町合併に反対すると共に、紛争回避に当るべき自治庁が分村して合併すべしとなす最もまずい調定を下したのに対し残県した大多数の住民は納得しかね、来春より武蔵町合併反対、都県の境界設定に対しても相当の抵抗が予想される。

去る十二月一日官報で公布された新市町村建設促進法の一部を改正する法律は都道府県管内に於ける市町村合併の際分村して合併した町村が、新市町村との境界変更で争議が生じた場合は当該知事は昭和三十四年三月三十一日までの間は調整委員にあっせん又は調停に付することが出来るよう改正された又市町村の一部の地域が分村して他府県と越境合併しその境界の設定で紛争が起きた場合は第二十七条第十三項　内閣総理大臣は都道府県の境界にわたる市町村の境界変更については第一項、第四項又は第五項の規定の例によりあっせん、調停、又は投票の要求をすることができる、この場合においては政令で特別の定をするものを除くほか前条第三項から第五項までの規定並に第三項及第六項から前項までの規定を準用する。という法律によって当然瑞穂町に分村して合併した元狭山村の一部地域の境界紛争については内閣総理大臣は調停、あるいは住民投票を要求しその結果によって調停ができることになっている。

明治大帝御聖徳奉讃の集い

青梅市　飛田勝造氏主唱

青梅市在住の飛田勝造氏主唱により水戸大洗の常陽明治記念館に国際画壇の雄、洋画家嵐知重画伯輩生の謹作になる明治大帝御尊像を永久奉掲する事となり、御肖像画完成式典を兼ね明治維新回天の偉業を想起しつゝ大帝の御禍業を偲び奉る集い……を天下の名士相集り来る十二月十六日午後一時より青山明治記念館で挙行することになった。

八王子織物工業組合新役員決る

八王子織物協同組合、東京人絹織物調整組合を一本に纒めて工業組合として新発足の認可を申請していた同組合は、去る九月十二日正式に通産省より認可された。新八王子織物組合はさっそく新役員を選挙二十五人の理事と四名の監事が無投票により選出され十二月二日には承任と初役員会が開かれた。不況にあえぐ織物業者としては新役員にかける期待は大きくその活躍が期待される。

理事長　田中　利一
副理事長　山田　郡治

専務理事　本島　要

以下各理事の部署は次の通り。

生産委員　委員長松崎圭亮、副委員長、橋本康寿、大竹秀雄、以下各委員、菅沼政蔵、藤森雅治、井上陽、浜野則平、神宮寺孝次郎、八木国三、落合稔、甘利甲一、原田正一、西尾金作、瀬沼正吉、清水金作、武内翁助、多田喜一、監事の中から二階堂辰郎、栗沢源吉

金融税務委員　委員長菅沼政蔵、副委員長綱屋慶蔵、以下各委員芹沢栄、藤森雅治、山崎耕三、高橋永政、小島栄一、武内翁助、多田喜一、監事から秋山賢次郎、橋本祐七

厚生委員　委員長　落合稔、副委員長瀬沼正吉、以下各委員　綱屋慶蔵、芹沢栄、浜野則平、八木国三、高橋永政、小島栄一、甘利甲一、原田正一、清水金作、監事から栗沢源吉

輸出振興委員　委員長、神宮寺孝次郎、副委員長、井上陽

以下各委員、松崎圭亮、橋本康寿監事から二階堂辰郎、栗沢源吉、橋本祐七以上商共同整理委員として菅沼政蔵、監事から秋山賢次郎両氏が上げられているが二名ではといっている。

青梅市商工会議所議員改選

十二月十五日

青梅市商工会議所議員の改選は十二月十五日選挙が行われる。改選される議員は一号議員三八名が投票によって選挙され、二号議員十六名は各部会の互選で決定、三号議員十一人は会頭が常任委員の意見を聴取して推薦されることになっている。

村山局電話新設開通

村山電話局は新設電話を左の通り開通来る二十日頃より通話開始される予定。

二〇九　清水　元治　染物
二一〇　高橋　昭夫　荒物
二一一　須田　政三　玩具
二一二　金井　昭明　織物
二一三　乙幡　泉　薬局
二一四　岡本　勇　マッサージ
二一五甲　吉野　寿輔　製茶
二一五乙　植原為之進　左官
二一六甲　池谷　直行　洗濯業
二一六乙　内野　幸雄　硝子商
二一七甲　田代　武正　織物
二一七乙　下田　量一　歯科
二一八甲　石川　義雄　織物
二一八乙　朝倉　光輝　製綿
二一九乙　福井　伝吉　工場長

砂川自民党婦人部結成

砂川自民党支部では去る十一月三十日午後一時より砂川中学校講堂に約九百名の婦人会員が参集婦人部結成大会が盛大に挙行された。

婦人部役員

部長　須崎　しげ

副部長　荒井とり、砂川チヨノ　豊泉フジ、岩生いよ、大竹幸子、原田シゲ、五明タキノ。

部落班長　一番班長野和田せい子、二番矢島ヨシ、三番倉内スヾ四番安藤さく、五番鈴木イノ、六番高橋房江、七番中野よね、八番高橋ふさ、九番山本スヾ、一〇番新藤チエ、南砂川　南部富田芳子フィンガム八木あき子、旭本森田よし江、江の島遠山秋子、第二都営　五十嵐クニ、東栄　種村八十美、新栄　鈴木キミヨ、南部第二渡辺清子。

村山町議会

村山町議会は十二月五日午前十時より開かれ

議案第二十五号　収入役乙幡泉の再任について同意を求めた。

議案第二十六号　村山町職員の給与に関する条例第十七条第二項中「百分の二六〇」とあるを「百分の三百」に改ること承認。

議案第二十七号　昭和三十三年度予算四千八百四七万四千九〇七円に、中学校敷地整備、消防自動車修繕費その他一〇四万二、三五五円を追加、四、九五一万七、二六二円を更正とした。

会に入り和気アイ～裡に散会した。

昭島市建設業組合忘年会

昭島市建設業組合（組合長升中実恵氏）は忘年会を昭和駅前歌川で開き、発展途上にある昭島市の建設には吾々建設業の使命こそ重大で、業者は益々自重し堅実な仕事によって市民の信頼を受け、職域を通じて昭島市建設に協力すべきであることを申し合せ、懇親忘年会に入り和気アイ～裡に散会した。

拝島武陽会

武陽信用金庫拝島支店の預金者約百五〇名は去る五日午後一時より拝島駅前料亭次郎長で拝島武陽会を結成規約の決定役員の選出終って懇親会を催した。

武陽会役員

会長　高橋　角蔵
副会長　野島　信一、

福生町役場人事異動

福生町役場では水道不正事件にかんがみ十二月五日、職員の小人事異動を左の通り発表し役場事務の明朗化を図った。

水道課長　古谷　徳男
総務課会計主任　浅見　裕康
〃　学事主任　斎藤　多市
民生課厚生主任　八木　房雄
嘱託技師　真田　真

平井初五郎、小林敬志
会計　森田　精策
監査　江藤　喬、
貫井　伊作
幹事野島為一郎、森田孝三郎、小堀仁七、野島毎、青木武一、大貫正蔵、小林安左衛門、乙幡常二郎、河西繁広、石川常太郎、野島茂雄、光田亨、森田茂雄、竹島益夫（支店長）

店内新装
タケシマヤの
歳末大売出し
タケシマヤ
TEL 259

鏡と額縁
おくりもの
記念品に最適
三井の漆器
福生駅前　電話四四八番

クリスマスの
お買物は・・・
新宿　立川
伊勢丹

ムラのない良い品
西川スレート
西川コンクリート株式会社
TEL(昭和)32・344

マークのスレート
Ⓐ浅見製瓦の萬年塀
電話(砂川)28番　責任施行

プリンス
値下げ断行！
スカイラインデラックス……115万
スカイラインスタンダード……90万
ニューマイラー……76万4千
一営業品目一
グロリア・スカイライン・ニューマイラー・クリッパー・ライトバン・ルートバン・コマーシャルバン・コマーシャルピックアップ・消防車・救護車・霊柩車・その他特殊車
新発売　グロリア（1900cc）
多摩プリンス販売株式会社
本社　立川市錦町5の192　TEL(025)立川(代表)3157－9
八王子営業所　八王子市横山町124　TEL(八王子)1701

忘年会・新年会に……
割烹　歌川
昭和駅前　電話昭和一一七番

福生全町連合　10日～31日
歳末福引大売出し
ダブルサービス　熱海温泉　1泊　御招待
1等より4等まで　電気器具・家具類其の他家庭用品を山積にして御待ち申して居ります
500円毎に福引券　100円・50円に補助券を差し上げます
福生商工街協組合

五日市地区

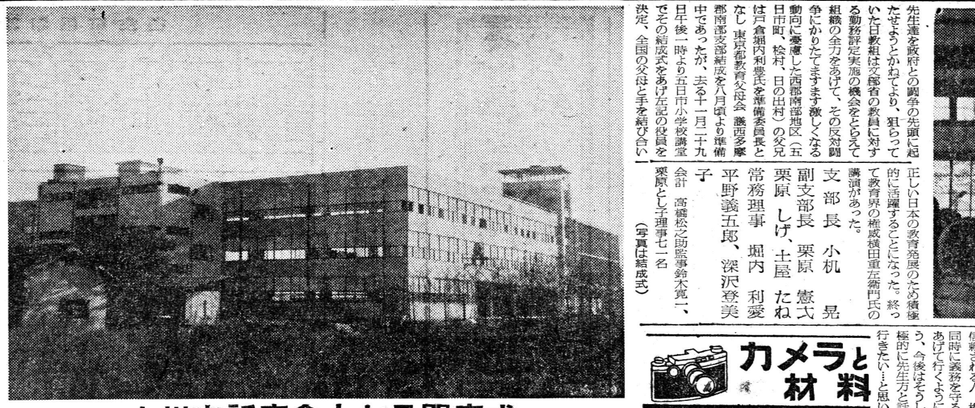
父母会議南部支部長に小机晃氏

先生連を教育との調和に起たせようとかねても、狙らって教育発展の為の積極的に活躍することになった。終っい日教組は文部省の教員に対する勤務評定実施の機会をとらえて組織の全力をあげて、その反対闘争にかりたてますます激しくなる動向に憂慮した西多摩郡地区（五日市町、檜村、日の出村の父兄は戸倉堀内利豊氏を準備委員長となし東京都教育父母会　西多摩郡南部支部結成を十月頃より準備中であったが、去る十一月二十九日午後一時より五日市小学校講堂でその結成式をあげ左記の役員を決定、全国の父母と手を結び合い正しい日本の教育発展のため積極的に活躍することになった。

講演があった。

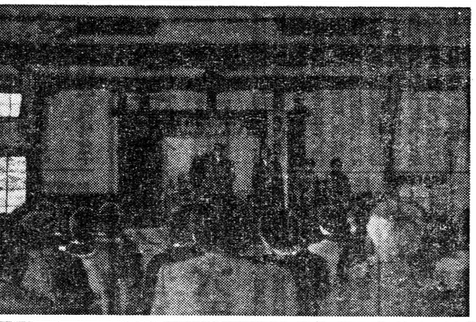
支部長　小机晃
副支部長　栗原憲弐
栗原しげ、土屋たね
常務理事　堀内利愛
平野義五郎、深沢登美子
会計　斎藤松之助監事鈴木寛一、栗原とし子理事七名

（写真は結成式）



立川市新庁舎十七日開庁式

一億二千八百万円の工費をかけ都下一を誇る立川市庁舎は錦町三丁目行政道路添いに鉄筋コンクリート地下一階、地上三階の豪華な市庁舎が完成した、十三日より新庁舎に移転を開始十六日に移転完了十七日開庁式の予定。尚落成式は一月を予定されている。（写真は完工した立川市庁舎）



小机支部長挨拶

政敵後十三ヵ年日本の発展はすばらしい反面とその向上を伴わない精神面があったことは事実だ、米国やソ連、中共の国民でなく、祖国日本を想う真の日本人となるよう指導しなくてはならない、青少年の不良化、凶悪犯罪の続出、先生達が大切な教育を捨て目前の政治闘争にかりたてられ行く現状をみると三親として実に憂慮に耐えない、教育は国家を通じて専門家の先生に委せてあるのであるから先生に真の日本人を教育するんだ——という現職教員感、教育者が日頃から

福生町議会

第七回福生町議会臨時会は去る十一月二十五日午前九時より開会左の議案を司決、引続き全員協議会が開かれた。

議案第六七号　町立第二小学校々舎増築事業の一部更正については昭和三十三年度議決第六三号議案を一部更正するもので木造厚型スレート葺、二階建一棟三一九坪が再設計の結果一、〇五四平方米（三二五坪）になったもの。尚内訳は普通教室、十、防火壁一、昇降口二、便所一、渡り廊下一となっている。

議案第六八号　契約締結同意方については、その一として町立第一小学校給食室改築工事で木造厚型スレート葺、平家建給食室一棟七九平方米（二四坪）渡り廊下四九平方米（十五坪）で請負者上石工務店（上石捨吉）福生町本町三四番地との間に一三五万円の契約金が成立。

その二は町立福生第二小学校々舎増築工事で木造厚型スレート葺、二階建校舎一棟四二九平方米（一三〇坪、四教室と入口）契約金三二〇万円で竹達建設株式会社（竹達武雄）福生町大字福生九八六番地と契約。

その三、補助道五号線改修工事で延長一五四米、巾員六米（福生町大字福生一〇四四番地先から福生九七九番地）の簡易舗装及側溝、L型船溝樽築、小川土木（代表者小川光三）福生町牛浜一六一番地との間に六九万円の契約金額が決定。

議案第六九号　監査委員選任につき同意を求めることについては現在の委員高橋角蔵氏の任期が十一月二六日をもち任期満了となるため、同氏の再選任となったもの。

議案第七〇号　決算認定については別表の通り承認された。

選挙第五号　福生町管理委員会委員、同補充員選挙については、福生町管理委員会委員、同補充員の任期が十一月二五日をもち全員満了する為、各選挙区（町内三ブロック）から第一投票所内から井上貞三（正委員）内田秀雄、村尾蔵作（正委員）坂本浩太郎（補充員）第三投票所内から竹田秋次（正委員）原島真一（補充員）の各氏が各ブロックの現役議員により選出された。

引続いて請願書が提出され、総務委員会付託に決定した。尚請願書の外容は、盗難、火災、犯罪等を最小限にくいとめる為に町全体に町会体に有線による放送施設を設し、町民の福祉を計ってもらいたいというもの。以上で提出議案全部議了引続き全員協議会に入る。

全員協議会　は一、二〇〇万円で問題の汚水処分場を整理する件、火災期間消防団員の夜間常備詰所を役場敷地内に建設（二〇万円）する件、表彰条例による表彰式は一月に延期する件等を協議した。

福生町昭和32年度決算総括表

会計別	歳入 予算額	歳入 決算額	歳入 差額	歳出 予算額	歳出 決算額	歳出 差額	差引残額
一般会計	102,937,510	108,559'370	5,621,860	102,937,510	98,628,706	△ 4,308,804	9,930,664
国保会計	8,702,643	9,563,624	860,981	8,702,643	8,035,043	△ 667,600	1,528,581
上水道会計	32,222,710	33,146,234	923,524	32,222,710	31,959,559	△ 263,151	1,186,675
質屋会計	10,840,500	10,386,242	△ 454,259	10,840,500	10,184,565	△ 655,935	201,677
と場会計	12,914,000	12,941,379	27,379	12,914,000	12,903,474	△ 10,526	37,905
計	167,617,363	174,596,849	6,979,485	167,617,363	161,711,347	△ 5,906,016	12,885,502

乳牛展と養豚共進会

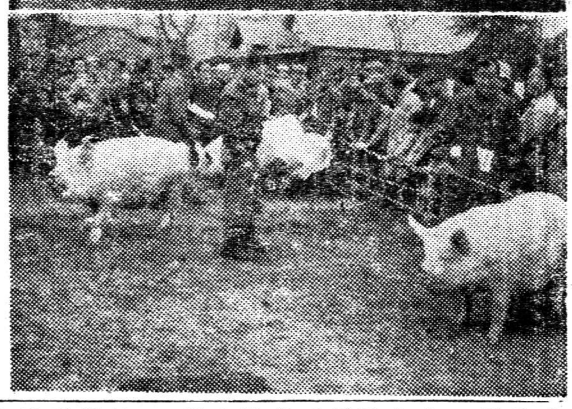
乳牛共進会　は西多摩酪農業協同組合主催のもとに去る十一月二十二日秋多町中学校庭に開催出陳乳牛七七頭と種畜場参考牛一頭計七八頭、審査の結果

天賞　桜号　青梅市霞関塚政雄
一等モラル号　〃　梅田盛吉
〃　ルルテナ号　〃　吉岡市蔵
二等賞　五日市町南沢忠一、増戸吉岡孫一、増戸田野倉熊太郎、東秋留秋葉民蔵、平井宮林喜作、東秋留平野文一
三等賞　瑞穂町瑞和田市五郎外二〇頭。

養豚共進会　西多摩地区豚共進会主催、第一回共進会は三十日午前九時から福生町一小校庭で開かれた。出品数は未経産ブタ十七頭、経産ブタ十九頭、肉ブタ二十四頭、種牡（参考ブタ）十頭の計七十頭で審査の結果次のとおり入賞した。

◇種ブタ▽一等一席＝西多摩農協▽同二席＝石田武吉（羽村町）▽同三席＝西多摩農協（羽村町）▽同四席＝小峰七蔵（瑞穂町）▽同五席＝岡野勇（秋多町）▽二等＝雨倉喜三郎（羽村町）ほか九人▽三等＝佐藤新太郎（日ノ出村）ほか二十人。

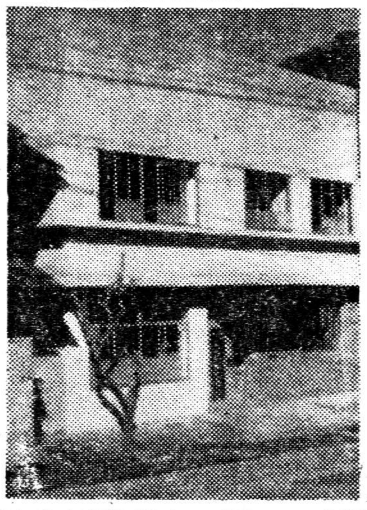
◇肉ブタ　▽一等一席＝前場初雄▽同二席＝岩崎正十（日ノ出村）▽同三席＝青木仲蔵（奥多摩町）▽二等＝私市初雄（五日市町）ほか六人▽三等＝山崎仁市（青梅市）ほか十三人。



【写真上は天賞受賞の桜号、下は審査中の豚】

川辺木材KK事務所落成

奥多摩町氷川川辺木材株式会社では事務所の建築中であったがこの程落成した。（写真は川辺木材新事務所）



工場長の博士号祝
勤続社員の表彰
細谷火工株式会社

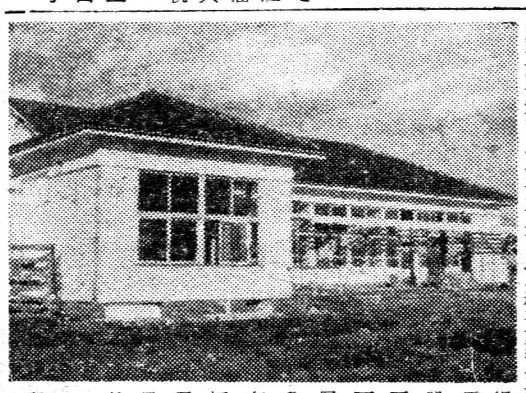
秋多町細谷火工株式会社では社長細谷政夫氏が来春中南米渡米送行会と清水武夫氏の花火界唯一の工学博士の学位を授けた御祝と、十五年以上勤続社員小林保次、田中福太郎、浦野源治、清水千代子さん等四名の表彰お祝を行った。先ず細谷社長より創立以来五十三年間の苦心と感謝の辞を述べ、工場長の清水工学博士の到って謙遜した謝辞があり被表彰者を代表して小林保次氏が、今後益々会社興隆の為め尽しますと謝辞を述べ、福井青梅労働基準署長松尾日本煙火工業専務、堀江福生警察署長の祝辞があり意義深い行事を終った。

【写真前列が工場長、清水武夫工学博士、後列左から浦野源作、田中福太郎、小林保次、清水千代子さん】

都立西多摩保育園落成

八月二十六日着工以来工事を速いでいた都立西多摩保育園は年度内に完工の予定だったが十二月十日予定よりも早く完工した。

同保育園は敷地五一〇坪に木造防火板平家建八二坪、請負者は島田組（羽村町川崎）電気設備、志村電設、家具、中倉木工で総工費三〇〇万円。内部設備は保育室、遊戯室、乳児室などあり現在羽村中学校西側にある都立西多摩保育の児童六〇人程がそっくり移る事になるという。



【写真は都立西多摩保育園】

各地の売出し
全福生商店街では

十日から例年どおりの賞品のほかに五十人を熱海に一泊招待するダブルサービスが人気的。賞品は主婦たちの要望もあり安いもので当選率をよくしている。二十日間で二千五百万円から三千万円の売上げを目標にしている。

温泉旅行は来年一月廿一、二日に観光バスを借切ってゆっくり温泉気分を楽しんでもらうほか宴会、おみやげまで用意する予定で一人きっと三千円といったところ。賞品は電気時代を反映してかひとこのタンス、火ばちなどにかわって電気ガマ、電気アンカ、ジヤーなどが大部分。

青梅市商店街

連合会の歳末連合福引売出しは十二月五日より三十一日までお買上げ五百円ごとに福引券、百円ごとに補助券で、特賞三万と一万円を（十二本）福引組合せ一組ごとに、五、〇〇〇点、一、〇〇〇点、五〇〇点、二〇〇点一〇〇点、五〇点、三〇点一〇点の八種で五、〇〇〇点一組の点数が三角くじで点数券によって景品が自由に選べるという仕組で、点数券をまとめて景品が引換えられるのであり、一〇点でもその場で引換えずまとめれば五百点、一千点となるという楽しみがあり。福引所は本町商工会議所前と勝沼町青梅果物市場筋向いの二ヵ所で、十三、四両日二十、二十一両日は宣伝カー、スポンカー広告マッチで宣伝され、加盟各店にはビニール三幅旗ポスターがはられ、くじら幕その他で店頭に飾られる。

八王子市

の歳末大売出しは五日より三十日まで行われるが例年とはがらり趣向を変えたやり方として注目される。御買上一〇〇円毎に特賞二万円の当るシルバーカード一枚、御買上五〇〇円毎に特賞現金一〇万円の当るゴールドカード一枚を与えるというもの以下両賞の賞金は次の通り。

★ゴールドカード賞。全組を通じて、

特賞　現金十万円　一本
〃　〃　三万円　一本
〃　〃　二万円　一本
〃　〃　一万円　一本

特賞以外の各組毎に一等現金一万円一本、二等五千円二本、三等二千円五本、四等一千円十本その他となっている。

★シルバーカード賞全組を通じて

特賞　現金十万円　一本
〃　〃　五千円　一本
〃　〃　三千円　一本

特賞以外の各組に一等現金二千円一本、二等一千円二本、三等五百金五本、四等二百円二十本となっている。

又、その抽せん日は明けて三十四年一月十二日、発表が一月十五日商工会議所で引換られる。

又十二月十七、八には商店連盟主催のクリスマス宣伝が行われる。毎年行っているもので八王子商店会の宣伝を兼ね、子供達に玩具のサービスをするもの、一昨五円程度の品が五万余点用意されている。

立川商店連盟では

十日から三十一日まで二十三商店会一千自軒の加盟商店が参加して行う。ことしは各商店の装飾に重点を置いて店頭を飾り立て、市外に宣伝カーを繰り出し、同市入口四ヵ所に広告宣伝塔を立てて大いに市外の客を引こうという計画。街頭のマイクを通じて宣伝放送にも力を入れるということで、デパートに対抗した歳末売出戦は相当に賑りもの入りのにぎやかな歳末風景を描き出すことであろう。

各商店会では二百円ごとに福引券出をな等テレビ、洗たく機特し、どで財布のひもをゆるめようという作戦。交通の便に恵まれたうえ基地などあって立地条件もよいから、昨年末の売出しを上回ろうとも下回らない売上げがあるだろうと商店側もなかなかの強気で、クリスマスの二十四、五日ごろをピークににぎやかな合戦となりそう

編機と　3ヶ月　6ヶ月　10ヶ月
月掛500円予約
ビーニッ種ミ種モ・ウ・ア・カ・ネ・ト・ド・イ・ヤ・モ・ベ・ダ・ア・イ・ケ・ン・ボ・各編ナ・ル・K・式・ン・ー・ー・ー